

第2回豊田市商業委員会会議録

【日時】 平成17年9月27日(火) 午後3時15分～5時20分

【場所】 豊田市役所 南庁舎5階 53会議室

【出席者】

委員

加藤 勇夫〔愛知学院大学商学部教授〕
河木 照雄〔豊田商工会議所副会頭〕
杉戸 厚吉〔社団法人地域問題研究所計画部長〕
新田 都子〔豊田市消費者グループ連絡会会長〕
松井 栄子〔足助観光協会〕
近藤 孝氏〔自営業〕

事務局

伊藤喜代司〔豊田市産業部部長〕
林 祐一〔豊田市産業部専門監〕
鈴木 辰吉〔豊田市産業部商業観光課課長〕
小副川辰夫〔豊田市産業部商業観光課主幹〕
兼子 雅彦〔豊田市産業部商業観光課係長〕
塚田 知宏〔豊田市産業部商業観光課主査〕

傍聴者

なし

【次第】

- 1 開会
- 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
- 3 委員長あいさつ
- 4 審議事項
 - (1) 経営革新モデル店舗支援事業対象事業者について
- 5 報告事項
 - (1) 商業・サービス機能誘致奨励金対象事業者について
 - (2) 平成16年度商業統計調査速報結果について
 - (3) 制度活用に向けた商店街の動向について
 - (4) 名鉄パレ保見店の後継店について
 - (5) その他
- 6 閉会

【会議録（要約表記）】

1 開会

事務局より、第2回豊田市商業振興委員会の開会の宣言が行われた。

2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて

事務局より、資料の確認、傍聴人数、審議スケジュールについて説明が行われた。

3 委員長あいさつ

加藤勇夫委員長から、あいさつが行われた。

4 審議事項

(1) 経営革新モデル店舗支援事業対象事業者について

事務局より、資料1「経営革新モデル店舗支援事業対象事業者審議書」に基づき説明があり、審議の結果、委員会として認めることとなった。

【主な質疑応答】

委員 桜町商店街の店舗数は。

事務局 22店舗です。

委員 エステ事業とは、美容院とは違うのか。

事務局 エステ事業とは、パーマメントメイク、フェイスエステ等で、経営後継者が東京で特殊な技術を身に付けた。

委員 ネールケアやネイルエステは、若者に人気があり、受け入れられれば口コミで広がる可能性が高い。

委員 エステ事業は駅前にほしい業種かもしれない。工事の内容は。

事務局 店舗改装費は、1,000万円を超えるが、経営者の意識は商店街の活性化を考えてみえる。洋服のオーダーメイド事業に比べ、売上は下がるが利益率は上がると聞いている。エステ事業の経営状況を、3年間にわたり市に提出していただき、商店街にも報告し、他店の刺激になればよいと考えている。

委員 名古屋では、エステの専門学校もできている。需要は多く、固定客で経営でき、商店街にも新しい客層が期待できる。

委員 商店街にも応援してもらい、エステ事業を成功してもらわなければならない。

委員 補助金申請の時期は。また、補助金の交付はいつか。

事務局 補助金申請は、工事着手の2週間前までに行わなければならない。補助金の交付は、工事完了後となる。

委員 審議に係る資料が、桜町本通り商店街の活性化計画に比べ少ないのではないか。

事務局 別に商店街の推薦書や見積書もいただいている。次回案件からは、設計図書や経営収支計画書等も添付したい。

委員 今回のエステ事業のケースは、テナントミックスで誘致したわけではないが、経営者の娘さんが後継者となり商店が存続していくことに意味がある。

委員 洋服のオーダーメイド事業はどうするのか。

事務局 経営者との面接では、オーダーメイド事業も続けてはいくが、経営者の高齢化により、5年程で廃業を考えているとのことである。

委員 新しい業種で心配もあるが、昔からの商店街にひとつの店が脱皮して、周りの商店街も側面から支えていくことになればいいのではないか。

委員 若者は、他で修業しても、戻ってくることは少ない。周りで協力して成功して欲しい。

委員 エステ事業に取り組む本人の意気込みと新しい業種に期待する。委員のみなさんも1月の商業振興委員会前にエステ事業を視察されたい。

5 報告事項

(1) 商業・サービス機能誘致奨励金対象事業者について

事務局より、資料2「商業・サービス機能誘致奨励金交付対象事業者について」に基づき報告した。

【主な質疑応答】

委員 豊田キャッスルは、豊田市で有力なホテルか。

事務局 市内では、豊田キャッスルと名鉄トヨタホテルが大きなホテルです。

委員 愛地球博で、この周辺ホテルの稼働率はどうだったか。

事務局 日頃から、業務による宿泊客が多く、平日の宿泊稼働率が高い。万博客による宿泊が多くなると、業務による宿泊客が敬遠してしまうことが心配だと聞いている。

委員 商業床も南地区市街地再開発ビルに入るのか。

事務局 商業床も予定している。

委員 店舗は小さいのか。

事務局 ひとつひとつの店舗は小さくなる。

委員 デベロッパーはどこか。

事務局 デベロッパーの進出がなかったため、第三セクターがこの秋に立ち上がる。第三セクターが業務床、スポーツ床と商業床の一部を取得して、テナントを入れることになる。ホテルは、買い取りで入居する。この買い取りに関して、商業・サービス機能誘致奨励金支援制度の適用になるものである。

今後、この支援制度で商業床とスポーツ床が対象になるものと考えている。まだ組合から申請はされていないが、1月の委員会でご審議いただくことになるかもしれない。

商業床は、権利者の方が経営する部分と第三セクターがテナント募集する部分ある。テナント募集には、相当の引き合いがあると聞いている。

商業床はこの街に不足している専門店を入居させるとともに不足ぎみのホテルやスポーツ施設をいれる計画である。

- 委員** アミューズメント施設があるといいのではないか。
- 事務局** その件に関しては、徹底的に調査した。シネコンやテーマレストランなど思いつくアミューズメント施設全部を専門家も入って検討したが、すべて成立しないとの結論に至った。スポーツ施設は、引く手あまたであり流行ると聞いている。
- 委員** 豊田市は、働くまちでありスポーツ施設の要請があると感じている。
- 委員** 夜のまちを活性化するために、アミューズメント施設入れたほうが一時的には活性化するが、商売として成り立たないと計画の誤りとなる。今池などはまちがきれいになりすぎてダメになっている。若者が集まれるような、健全な娯楽施設があるとよい。
- 事務局** 昼間社会が夜も続いてはかなわないという考え方もあるようだ。中心市街地に娯楽施設があったとしても、開放感を求め名古屋や豊橋に行ったほうがよいとの意見もある。
- 委員** 住宅は賃貸か。また、入居年齢層は。
- 事務局** 住宅は分譲である。30代後半を中心に入居するのではないかと想定している。
- 委員** ホテルができると、まちなかにエンターテインメント機能がなくても、ホテル宴会場がその代替機能を果たすのではないか。まちなかに人を集める要素にもなる。
- 委員** コンサート施設はどこにあるのか。
- 事務局** 隣接の施設がコンサートホールである。
- 委員** デイナーショーや歌謡ショーは、ホテルでもできる。
- 委員** 市民は戸建て指向が強いが、どのような人が住むのか。
- 事務局** 社宅は10年～15年で退去させられてしまうため、その受け皿になり得る。
- 委員** 名古屋まで1時間圏域であり、名古屋の方が購入するとも聞いている。
- 委員** 親が自宅に住み、子がマンションに住む時代になってきた。

(2) 平成16年度商業統計調査速報結果について

事務局より、資料3「平成16年度商業統計について」に基づき報告した。

【主な質疑応答】

- 委員** 市町村合併後、商店数はどのくらい増加したのか。
- 事務局** 約300店舗です。
- 委員** 合併後商店数も2,500店となり年間商品販売額も増加するが、小売吸引率の伸びは消費の流出が多く期待できない。商店街の自助努力で小売吸引率1前後になるとよい。伸びがないようであれば、大型店を誘致する方法しかないのではないか。

(3) 制度活用に向けた商店街の動向について

事務局より、資料4「制度活用に向けた商店街の動向について」に基づき報告した。

【主な質疑応答】

- 委員** 商店街は何団体あるか。また、組合連合会はあるか。
- 事務局** 振興組合14団体、協同組合6団体、発展会15団体です。愛知県振興組合豊田支部がある。
- 委員** 成果主義である以上、目標値や実績値を提出させて成果を問うことはよいことだと思う。成果のでない団体は斬っていく姿勢で対応されたい。
- 委員** 商店街では過去の事業を踏襲している場合が多い。
- 事務局** 見直していく。
- 委員** 補助金も税金で賄われており、厳しい姿勢で臨まれたい。
- 委員** おいでんまつりおよび花火大会の参加者は。また、市内外の内訳は。
- 事務局** 3日間で68万人。花火大会は35万人。おいでんまつりの参加者は市内の方が多いが、花火大会は半々である。
- 委員** 地元に金は落ちないのか。
- 事務局** 昨年度、UFJ総研でおいでんまつりの経済波及効果を出してもらった。イベント費用は2億2千万円だが、経済波及効果は16億3千万円で雇用創出は150人との結果でした。
- 委員** 経済波及効果を商店街は感じているか。
- 事務局** 飲み物は売れているが、余り感じていないのではないかと。
- 委員** 岡崎の花火と比べてどうか。
- 事務局** 打ち上げ数は岡崎の花火が上だが、ロケーションや演出では豊田の花火が勝っていると思っている。

(4) 名鉄パレ保見店の後継店について

事務局より、資料5「保見地区商業機能等対策の経緯」に基づき報告した。

【主な質疑応答】

- 委員** 豊田市としては、I・B・FOXで決まればよいと考えているか。
- 事務局** 前回の委員会で報告させていただいたが、地域の民間大型店が倒産したからといってそれを支援する商業施策はない。しかし、団地内の特殊事情のなかで、何か支援をしないと収まりがつかない事態になったときに、委員会の意見や判断をいただきたかった経緯があった。
- I・B・FOX社長は、意欲的でサービス精神が旺盛で社員教育も素晴らしい。
- 委員** I・B・FOXの開店まで、油断しないよう対応されたい。

(5) その他

委員長より、自由な意見を求められた。

【主な質疑応答】

- 委員** 商店街共同事業の実績値は、どのようにカウントされるのか。
- 事務局** 来場者をみる場合、チラシに抽選券を付け、それを回収してカウントする商店街もある。
- 委員** 正確な数字は把握できないが、計算方法を統一化しておかないとチェックができなくなる。計算方法だけは、統一されたい。
- 委員** 私が住んでいる地域は、大型店密集地で商店街は厳しいが、地元商店街が商店街活性化計画の策定に取り組んでいると聞き喜んでいる。
- 委員** 駅前再開発ビルの商業施設は、どのように募集するのか。
- 事務局** 募集要領があり、現在テナントを募集中。しかし、どのような業種が応募されているかは把握していない。組合で集客効果のあるテナントを選定することとなる。テナントが発表され次第、委員会で報告する。
- 委員** 足助の商店が集まる道路は狭く、一方通行も多い。そのため、道路両サイドの店舗を歩きながら見て回れるが、中心市街地は道路空間も広く味気ない。
- 委員** 名古屋も道路が広がりすぎて、人は地下街に入ってしまう。道路上の商店は、閑散としている。道路をただ広げるよりも、雑踏感があつたほうがよい。
- 委員** 桜町本通り商店街の道路は、歩道3m×車道6m×歩道3mであるが、これを歩道4m×車道4m×歩道4mにしようという計画がある。歩く人を基本にバリアフリーを取り入れ、やさしい道路が必要だ。街路樹をやめフラワーポットや低木のプランタに変えてイベント時には動かせるようにしたいなどの話をしている。
- また、店舗をきれいにするだけでなく、店主の意識が変わらないことには何も変わらない。
- 委員** 商店街で大切なことは、車客を大切にするのか歩いている人を大切にするのかの見極めが必要だ。ファッションストリートでは、固定客が主であり、歩いている人をターゲットにすると失敗する。
- 地方都市では、歩いている人で商売ができるか問題だ。背後に人口があるか、近くに集客施設があるかが必要で、歩きやすさだけで商業の活性化ができるものでない。
- 個店がもっている客がアクセスしやすい環境をどう作っていくかを考えたほうがよい。
- 委員** 売れないのではなく、売ろうとしない経営者の意識改革が必要で、自助努力で自分の金をだすことも大事である。
- 歩きやすいまちをつくることは理想だが、買物客にすると歩いて買物に行くことは苦痛な面もある。都市をつくる視点と買い物客の視点は必ずしも一致しない。商店街の活性化からみると、まちづくりと繋がらないこともある。

6 閉会